一年間の交換留学生活を振りかえて

K1790033 交換留学生　黄　リエ

昨年日本に到着した時のことは昨日の事のように思い出されますが、一年間の留学生活はもうすぐ終わろうとしています。振り返て見ると、多くの面で勉強になり、一回り大きく成長したように思います。

まず、日本で一年間生活してみて、日常生活の様々な面からも日本や日本人をもっと理解できるようになりました。日本人は環境を大切にし、空間と資源を最大限に利用しています。他人と付き合う時、礼儀を重視し、お互いに一定の距離を保ち、そして相手の私的生活に深入りしないことです。そのために、日本人は過激な言葉や行動をする人が少ないのではないかと思います。また、日本人は目や体での交流が少ないと感じます。例えば女性の友達同士でも、一緒に遊ぶ時、体での接触が少なく、手を繋ぐことや腕を組むことはほとんどしないそうです。西欧人や中国人に比べると、日本人はちょっと内向的な民族だと思います。

つぎに、今回の留学生活によって自分の視野が広げられた感じがします。授業のディスカッションで日本人と各国の留学生たちと一緒に色んな話題を討論することによって、私の目は台湾や自分の専門だけに留まるのではなく、もっと広い世界と広い領域に向かっていくようになりました。皆で一緒に交流することによって、個人として、留学生として、国際交流をどう進めるかを私も少し分かるようになりました。

さらに、履修した授業は大体少人数の中で行われました。先生も一人一人の学生に気を配ってくださるし、学生も発言する機会が数多くありました。そのため、非常に良い緊張感の中で 2 学期間学習することができました。授業内容も非常に実践的なものであり、ディスカッションやプレゼンテーションを行う機会も沢山ありました。世界中から来た学生と話をする中で文化の違い、考え方の違いなどに驚くことも多く、そのような経験を通して自分自身の意見をはっきり持ち、はっきり述べる必要性を強く感じることにもつながりました。中でも特に加賀美ゼミに参加したことは今回の留学生活において、最大の収穫と言っても過言ではありません。加賀美先生のご指導と、他のＤ生、M生たちから頂いた沢山の助言により、論文をスムーズに進めることができました。自身の研究においても、夏休みに現地調査とアンケートを取る予定にしています。学校で行われるジェンダーや女性リーダーに関するセミナーにも参加でき、非常に有意義なものとなりました。また、同じ授業を履修し、同じ専門分野の学生だけでなく、全く異なる専門分野の学生や院生と知り合うことができ、一緒に話をする中で自分自身の知識や興味関心も広がっていきました。

最後に、今回の留学で今後の自分の進路においてある程度明確な方向性が見えてきて、かけがえのない経験ができました。この一年間は私にとって非常に大切な体験となりました。これからこの体験を活かして。身の周りの人に働きかけ、彼らの心に少しでも良い変化をもたらすことが出来れば幸いです。

写真撮影場所

1：栃木県足利フラワーパーク

2：岐阜県世界遺産白川郷合掌造り

3：京都府瑠璃光院

4：山形県蔵王樹氷